

Go To トラベル事業をご利用いただく皆様へのお願い

若者の団体旅行、重症化しやすい高齢者の団体旅行、大人数の宴会を伴う旅行は一般的にリスクが高いと考えられています。ご利用に当たっては、感染防止対策を徹底していただくことが前提となっておりますので、今一度、以下の事項をご確認いただくとともに、旅行中の確実な実施をお願いいたします。

- ✓ ツアー中、飲食の際の会話時も含めて、必ずマスクを着用してください。
- ✓ ツアー中は、必ず毎日、検温など健康チェックを行ってください。発熱がなくても、咳、のどの痛み、味覚障害などがあると感じた場合には、速やかに旅行を中止してください。
- ✓ バス車内での飲酒、食事は禁止です。また、会話も控えていただくようお願いいたします。
- ✓ バス車内では指定された座席を利用し、席の移動はやめてください。
- ✓ 飲酒を伴う、大人数・長時間に及ぶ食事は、感染リスクが高まります。旅行先においても必要最小限にとどめていただくようお願いいたします。また、席の移動も控えていただくようお願いいたします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に教居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



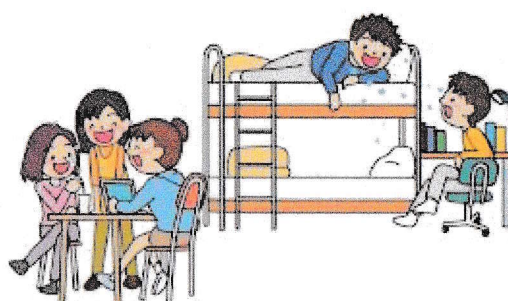
場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

